

大卒「就職率」は 67.3%で 3 年連続アップ

“不安定な雇用”、大卒者の 20.7%、11.6 万人！

旺文社 教育情報センター 平成 25 年 9 月

25 年 3 月に大学を卒業した 55 万 9 千人のうち、就職者総数は 37 万 6 千人で、就職率は 67.3%であることが、このほど発表された文部科学省の『平成 25 年度学校基本調査速報』でわかった。就職率に改善の兆しは見えている一方で、「安定的な雇用に就いていない」大卒者（＝「進学も就職もしていない者」＋「一時的な仕事に就いた者」＋「就職者のうち正規の職員等でない者」）は 11 万 6 千人にも上る。

ここでは大学・短大の就職率の推移等について紹介する。

■就職率は 3 年連続アップ

25 年 3 月の大学（学部）卒業生数は、55 万 9 千人。このうち、就職者総数（「大学院等進学者のうち就職している者」を加えた就職者数）は 37 万 6 千人で、前年より 1 万 9 千人（5.3%）増加。就職率（就職者総数÷学部卒業生数、以下同）は、67.3%で、前年より 3.4 ポイントアップし、3 年連続の上昇となった。なお、就職者のうち、「正規の職員でないもの」は 2 万 3 千人で、就職者総数に占める割合は 6.0%となっている。（表①参照）

一方、25 年 3 月の短大（本科）卒業生数は、6 万 2 千人。このうち、就職者総数（「大学等への進学者のうち就職している者」を加えた就職者数）は 4 万 6 千人で、前年より 1 千人（1.4%）減少。就職率は、73.5%で、前年より 2.7 ポイントアップし、こちらも 3 年連続の上昇となった。（表②参照）

■大学(学部)の状況別卒業生数

(表①)

年度	卒業生数 (人)	就職者(人)		「大学院等への進学者」のうち 就職している者(人)		(再掲) 就職者総数(人)	就職率
		正規の職員等	正規の職員等で ない者	正規の職員等	正規の職員等で ない者		
	A	B	C	D	E	F=B+C+D+E	F/A
平成20	555,690	388,417		63		388,480	69.9%
21	559,539	382,434	「正規の職員等」と「正規の職員等でない者」の合計	51	「正規の職員等」と「正規の職員等でない者」の合計	382,485	68.4%
22	541,428	329,132		58		329,190	60.8%
23	552,358	340,143		74		340,217	61.6%
24	558,692	335,048	21,963	47	30	357,088	63.9%
25	558,853	353,123	22,738	50	48	375,959	67.3%

(注)①「大学院等への進学者」＝大学院研究科、大学学部、短大本科、大学・短大の専攻科・別科へ入学した者。また、進学しかつ就職した者を含む。

②就職者のうち「正規の職員等でない者」(H24年度より新設した項目)＝雇用の期間が1年以上で期間の定めのある者で、かつ1週間の所定労働時間が30～40時間の者。

■短大(本科)の状況別卒業生数

(表②)

年度	卒業生数 (人)	就職者(人)		「進学者」のうち就職している者(人)		(再掲) 就職者総数(人)	就職率
		正規の職員等	正規の職員等で ない者	正規の職員等	正規の職員等で ない者		
	A	B	C	D	E	F=B+C+D+E	F/A
平成20	83,900	60,413		1		60,414	72.0%
21	78,056	54,585	「正規の職員等」と「正規の職員等でない者」の合計	2	「正規の職員等」と「正規の職員等でない者」の合計	54,587	69.9%
22	71,394	46,722		1		46,723	65.4%
23	66,871	45,580		7		45,587	68.2%
24	65,682	40,216	6,290	3	0	46,509	70.8%
25	62,403	39,740	6,128	3	0	45,871	73.5%

(注)①「進学者」＝大学学部、短大本科、大学・短大の専攻科・別科へ入学した者。

②就職者のうち「正規の職員等でない者」(H24年度より新設した項目)＝雇用の期間が1年以上で期間の定めのある者で、かつ1週間の所定労働時間が30～40時間の者。

なお、文部科学省・厚生労働省の調査により毎年4回（10・12・2・4月）発表される「就職率」もあるが、こちらは62大学・20短大の抽出調査であり、また就職率の算出方法も「就職希望者に対する調査時点での就職者の割合」で、『学校基本調査速報』の数値とは異なっているので注意を要する。

※参考：「大学生の就職率は93.9%、わずかに回復！」（平成25年4月1日現在）

http://eic.obunsha.co.jp/resource/pdf/educational_info/2013/0527_02_k.pdf

■「安定的な雇用に就いていない」大学生は20.7%

学部卒業後、「進学も就職もしていない者」は7万6千人、「一時的な仕事に就いた者」は1万7千人、「就職者のうち正規の職員等でない者」は2万3千人で、これらの合計（＝「安定的な雇用に就いていない者」）、つまり“不安定な雇用者”は、11万6千人。大学卒業者の20.7%（前年度、22.9%）を占め、依然として高い割合となっている。

なお、23年度までは、「就職者のうち正規の職員等でない者」の区分がないため、23年度までの算出方法をとると、25年度の割合は16.6%（同、19.0%）となる。（表③参照）

また、「就職も進学もしていない者」7万6千人のうち、「進学準備中の者」は3千人、「就職準備中の者」は4万2千人だった。

一方、短大（本科）卒業後に「安定的な雇用に就いていない者」は1万4千人で、短大卒業者に占める割合は23.2%（同、25.4%）となっている。（表④参照）

■大学(学部)卒者のうち「安定的な雇用に就いていない者」 (表③)

年度	卒業者数 (人)	一時的な仕事 に就いた者(人)	就職も進学も していない者(人)	就職者のうち 正規の職員等でない者 (人)	安定的な雇用に 就いていない者(人)	安定的な雇用に 就いていない者の割合
	A	B	C	D	E=B+C+D	E/A
平成20	555,690	11,485	59,791		71,276	12.8%
21	559,539	12,991	67,894		80,885	14.5%
22	541,428	19,332	87,174		106,506	19.7%
23	552,358	19,107	88,007		107,114	19.4%
24	558,692	19,569	86,566	[21,993]	106,135 [128,128]	19.0% [22.9%]
25	558,853	16,850	75,928	[22,786]	92,778 [115,564]	16.6% [20.7%]

(注)①「就職も進学もしていない者」＝家事の手伝いなど就職でも、「大学院への進学者」や「専修学校・外国の学校等入学者」等でもないことが明確な者。
②就職者のうち「正規の職員等でない者」(H24年度より新設項目)＝雇用の期間が1年以上で期間の定めのある者で、かつ1週間の所定労働時間が30～40時間の者。
③「安定的な雇用に就いていない者」＝「就職者」のうち「正規の職員等でない者」+「一時的な仕事に就いた者」+「進学も就職もしていない者」。
④24・25年度の[]数値は、「就職者のうち正規の職員等でない者」の数値、あるいは「就職者のうち正規の職員等でない者」を加えた数値。

■短大(本科)卒者のうち「安定的な雇用に就いていない者」 (表④)

年度	卒業者数 (人)	一時的な仕事 に就いた者(人)	就職も進学も していない者(人)	就職者のうち 正規の職員等でない者 (人)	安定的な雇用に 就いていない者(人)	安定的な雇用に 就いていない者の割合
	A	B	C	D	E=B+C+D	E/A
平成20	83,900	3,215	8,400		11,615	13.8%
21	78,056	3,450	9,037		12,487	16.0%
22	71,394	3,880	9,986		13,866	19.4%
23	66,871	3,208	8,642		11,850	17.7%
24	65,682	2,673	7,702	[6,290]	10,375 [16,665]	15.8% [25.4%]
25	62,403	2,115	6,225	[6,128]	8,340 [14,468]	13.4% [23.2%]

(注)①「就職も進学もしていない者」＝家事の手伝いなど就職でも、「大学等への進学者」や「専修学校・外国の学校等入学者」等でもないことが明確な者。
②就職者のうち「正規の職員等でない者」(H24年度より新設項目)＝雇用の期間が1年以上で期間の定めのある者で、かつ1週間の所定労働時間が30～40時間の者。
③「安定的な雇用に就いていない者」＝「就職者」のうち「正規の職員等でない者」+「一時的な仕事に就いた者」+「進学も就職もしていない者」。
④24・25年度の[]数値は、「就職者のうち正規の職員等でない者」の数値、あるいは「就職者のうち正規の職員等でない者」を加えた数値。